

科目名 (英)	Basic Hair Design II	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	大井/木本/貞包/永井/中村/古里
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
						曜日・時間	金曜日
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容師を経て、TV、舞台、セットサロン、ブライダルなどのヘアメイクに携わり、実際に現場で働く講師よりトレンドを学びながら基礎の土台を固める。プロフェッショナルの技術を身に付ける為の基礎技術と理論を修得する。							
【授業を通じての到達目標】							
ベーシックなスタイルからトレンドのスタイルまで幅広く基礎技術を身に付け、サロンスタイルや現場実習に対応出来る力を修得する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
ヘア教材一式							
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	【ピンギング】アミンの特性を理解する。13パネルのスライスを取り、それぞれオンベースにねじり、オンベースでピンギングをする						
2	【ピンギング】パネル数を減らしてセクションを大きくし、全7パネルのスライスを取りそれぞれオンベースにねじりオンベースでピンギング。毛先をネジピンでとめる。ネジピンの特性を学ぶ					小テスト10点	
3	【ストレートアイロンの使い方①三つ編み(オンライン)】ストレートアイロンの特性と、表編み、裏編みの構成を習得する						
4	【編みおろしスタイル】表編み、裏編みを駆使し、流行りのスタイルをつくる						
5	【コテ巻き】理論を学び、フォワード巻きリバース巻きの基礎の巻き方を習得する						
6	【コテ巻き・ハーフアップ】基礎巻きをし、ハーフアップスタイルを完成させる						
7	【コテバリエーション巻きハーフアップ】ツイスト巻き、ツイストねじりをして、ハーフアップスタイルを完成させる					中間テスト20点	
8	【ストレートアイロンの使い方②・下目アップ】Cカール、波ウェーブの技術を学ぶ。下目アップスタイルを完成させる						
9	【長さ別ヘアアレンジ(相モデル)】髪長さ、量、質の違いに対応出来る術を習得する						
10	【編み込みアップ・おくれ毛】表編みと裏編みを取り入れて、おくれ毛有りのゆるふわアップスタイルを作る					小テスト10点	
11	【逆毛・ボンパドル・ブロー】ブロー・片面逆毛・ボンパドルの技術を習得する						
12	【ツイテールおだんご】ジグザグスライス・ポニーテール・おだんごスタイルを習得する						
13	【スチール撮影練習】今まで習得してきた技術を駆使して模写をする						
14	【スチール撮影練習】今まで習得してきた技術を駆使して模写をする						
15	【スチール撮影練習】今まで習得してきた技術を駆使して模写をする					定期テスト60点	
【特記事項】 9/8～13 スチール撮影				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	Basic Make Design I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	堤、久保、大瀬、永井
学科・コース	ヘアメイク科ヘアメイクコース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	前期 水曜日 1,2,3,4
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>外資系化粧品ブランドのメイクアップアーティストを経て、バックステージやMV、CM等のヘアメイクに携わる。</p> <p>メイクの基本的な理論を理解し、フルメイクを行うための基本的な基礎技術を学ぶ。</p>							
【授業を通じての到達目標】							
JESC検定合格を目指し、メイクを行うための衛生や基本の理論・技術を習得する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
Basic Make Up、メイク道具一式							
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	授業内容の確認と教材確認、テーブルセッティングとスキンケア手順を実践し習得する						
2	スキンケア手順の復習と、ベースメイクの手順や技術を学び習得する					小テスト 5点	
3	ポイントメイク① リップ、アイブロウをオンライン授業で学び、セルフで実践し技術を習得する						
4	スキンケアからベースメイクを復習し一連の手順を習得する						
5	スキンケアからベースメイクを復習し一連の手順を習得する					小テスト 5点	
6	ハイライト、シェーディング、チーク技術を新たに学び、リップ、アイブロウを復習し技術を習得する						
7	フルメイクを55分で行い時間内にフルメイクができるようになる					中間テスト 20点	
8	タイムトライアル フルメイク 45分 時間内にフルメイクができるようになる						
9	タイムトライアル フルメイク 40分 時間内にフルメイクができるようになる						
10	タイムトライアル フルメイク 35分 時間内にフルメイクができるようになる						
11	JESC検定 模擬試験 フルメイク30分 検定と同じ規定で実践する					小テスト 10点	
12	オンライン授業にてJESC検定フィードバック、スチール撮影に向けてデザインを考えコンセプトシ						
13	スチール撮影 実践練習① スチール撮影に向けて技術を向上を目指す						
14	定期テスト課題の練習をし、技術の向上と習得する						
15	模写メイクを時間内に完成させる					定期テスト 60点	
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> <li>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</li> <li>●評価 A評価 (90～100点) / B評価 (80～89点) / C評価 (70～79点) D評価 (60～69点) E評価 (出席不良・評価資格喪失) / F評価 (0～59点・不合格)</li> <li>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul>			

科目名 (英)	Photo Shooting I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	東村 忠明
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時間	前期 集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>既にある広告やマガジンのキービジュアル、ファッションアイコンのヘアメイクからその再現方法、細かくはディテールや質感の作り方を撮影までの過程を取り入れて実習します。</p> <p>講師経歴:美容サロンや一般企業に対するヘアメイク指導や、美容部員向けのメイク研修講師等を実施。特殊メイクやスチール撮影での講師経験もある。</p>							
【授業を通じての到達目標】							
与えられたテーマを元に、スチール用にモデルをヘアメイクできるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
ヘアメイク道具一式							
回	授業概要						テスト配点
1	【授業単元】 スタジオワークデモンストレーションA 【到達目標】 撮影までの流れと工程を見て、ナチュラルからクリエイティブのバリエーションを確認。モデルのケアの仕方や立ち振る舞いを手本に、個々の現場や作品撮りに生かす。						
2							
3	【授業単元】 スタジオワークデモンストレーションB 【到達目標】 撮影までの流れと工程を見て、ナチュラルからクリエイティブのバリエーションを確認。モデルのケアの仕方や立ち振る舞いを手本に、個々の現場や作品撮りに生かす。						10
4							
5	【授業単元】 イメージヘアメイク①A 【到達目標】 イメージ(人物像)が伝わるヘアメイクを身に付ける。 髪の毛や肌の質感を表現出来るようにする。						
6							
7	【授業単元】 イメージヘアメイク①B 【到達目標】 イメージ(人物像)が伝わるヘアメイクを身に付ける。 髪の毛や肌の質感を表現出来るようにする。						20
8							
9	【授業単元】 イメージヘアメイク②A 【到達目標】 イメージ(人物像)が伝わるヘアメイクを身に付ける。 髪の毛や肌の質感を表現出来るようにする。						
10							
11	【授業単元】 イメージヘアメイク②B 【到達目標】 イメージ(人物像)が伝わるヘアメイクを身に付ける。 髪の毛や肌の質感を表現出来るようにする。						10
12							
13	【授業単元】 ビジュアルコピーヘアメイク AB合同 【到達目標】 コピー元ビジュアルを再現するにあたり、研究とリサーチが十分か。 モデルに似合ったビジュアルになっているかが基準。						
14							
15	【授業単元】 クリエイティブヘアメイク 【到達目標】 主にフォトコンで賞を取るような作品のディレクションやアイデアを研究する。						60
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> <li>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</li> <li>●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)</li> <li>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul>			

科目名 (英)	オリエンテーション・導入教育 I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	今井香菜子 及川美波 吉田映梨子 阿部和彦
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	前期 集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
学年全体の学習イメージをつけることができる							
【授業を通じての到達目標】							
年間のスケジュールが理解できる 授業概要が理解できる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
プリント配布							
回	授 業 概 要						テスト配点
1							
2							
3							【授業単元】 スケジュール・ルール確認・職員紹介・講師紹介
4							
5							
6							
7							【到達目標】 年間のスケジュール管理ができるようになる 学則・内規等のルールを理解し、遵守の意識を持つ 学科職員や学校組織の構成を知る 学校の校舎や教室の使い方を理解する
8							
9							
10							【授業単元】 時間割・授業概要理解 就職活動について 教材理解 教科書理解
11							
12							
13							
14							【到達目標】 年間の授業概要を理解し、これからの学びのイメージをもつ 就職活動についての具体的なじぶんのスケジュールを立てることができる 自身が今後使用するヘアやメイクの教材について把握し、使用方法が理解できる 奨学金制度などの奨学金サポート制度についても概要が理解できるようになる
15							
【特記事項】				【評価について】 出席評価とする			

科目名 (英)	ネイル演習	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	大坪
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時間	前期 月曜日
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
本科目を受け持つ講師は全員検定取得者でスタッフの育成・教員を務めた経験を有しており、ネイリストとしての基礎知識や接客を身につけている。ネイルケアやポリッシュ塗りの基礎的技術をレクチャーする。							
【授業を通じての到達目標】							
ネイルの基礎知識や実践的な接客・カウンセリング・技術を習得し、職業人として社会に貢献することができる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
ネイル教材一式							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	テーブルセッティングの仕方或使用道具の名称を学ぶ						
2	ウッドスティックの削り方3種類を理解し、コットンスティックを作れるようになる						
3	ハンドマッサージと甘皮ケアの手順を覚える						
4	エメリーボードの下準備(面取り)の方法を習得する						
5	エメリーボードの持ち方を学び、ファイリングのデモンストレーション(対面・横から)を見学、確認する						
6	相モデルでファイリング(右手は対面・左手は横から)綺麗に削れるよう実践する						
7	カラーリングデモンストレーション(対面・横から)を見学、確認する						
8	相モデルでカラーリングを以下手順で実践する						
9	①油分除去(表面からエッジ)を習得する						
10	②ベースコート(エッジ5本から表面5本)を塗れるようになる						
11	③カラーポリッシュ1回目赤(エッジ5本から表面5本)を塗れるようになる						
12	④カラーポリッシュ2回目赤(表面5本)を塗れるようになる						
13	⑤トップコート(エッジ5本から表面5本)を塗れるようになる						
14	相モデル交換しカラーリング(①～⑤)を実践する						
15	ウッドステック、ボトルネックの掃除手順を覚える						
【特記事項】※持ち物 タオル(長タオル)4枚、キッチンペーパー6枚、ゴミ袋、セロハンテープ、コットン8枚、ハンドクリーム、綿棒4本				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	Blow styling I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	B★side 浜香奈子 B★side 中島奈那
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	集中授業
						曜日・時間	月曜日
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ヘアメイクアシスタントの役割・動きを理解し、実際に現場で対応する為の知識・スキルを身に付ける。							
【授業を通じての到達目標】							
ヘアメイクアシスタントのヘルプの流れ、ブローの仕方を身に付け、現場で動く力を修得する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要						テスト配点
1	道具の名称を確認し、アシスタントとしての立ち位置、ピン・ゴム・コテの渡し方を習得						1回目 1コマ目
2	アイモデルでアシスタントの動きを実践						1回目 2コマ目
3	ヘアメイクの現場での髪の毛の濡らし方、ブローの仕方を学ぶ						2回目 1コマ目
4	デンマンブラシを使ったブローの実践						2回目 2コマ目
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】 ■持ち物 ヘア道具一式 ウィッグ 筆記用具 延長コード				【評価について】			

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道 I (professional seminar I)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	吉田・大塚・今井・及川
学科・コース	ヘアメイク科 ヘアメイクコース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	前期 月曜日2限・3限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ヘアメイク業界の理解を深め、社会人として必要な教養・マナーを学び、現場実習に活かすことが出来る 主たる講師:美容院に美容師として勤務後、本校ヘアメイク科担任として従事している(及川)							
【授業を通じての到達目標】 美容のプロになるために必要な業界知識や流れを理解し、ヘアメイクの分野に合わせたビジョンを組み立てることが出来る 目指すヘアメイク分野の業界を知り、方向性を見出し、自主的に行動できるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時にteams共有				毎授業時にteams共有			
回	授業概要					日付	テスト配点
1	教務部長挨拶・入学式を終えて振り返りと目標設定・講話受講のマナーについて・ITリテラシーテスト(入学式を終えた後の振り返りから、一人ひとり新たな決意の確認をする。また、クラス内でシェア・発表を行い、お互いを認め合うことを学ぶ)					4/12	
2	ヘアメイクの仕事・業界を知る①(ヘアメイク分野の業種について学び、調べ、発表し、業界についての理解を深める)					4/19	5点
3	ヘアメイクの仕事・業界を知る②(ヘアメイク分野の業種について学び、調べ、発表し、業界についての理解を深める)・サポートアンケートの実施					4/26	5点
4	美容業界について知る(美容分野の業種を調べ、業界についての理解を深める)					5/10 (オンライン)	
5	中間テスト(20点満点)(美容業界・ヘアメイク業界についての知識をアウトプットし、より理解を深め、復習が出来る)					5/17	
6	担任面談(指定期日に担任との面談を行い、個人目標を明確にする)					5/24	
7	担任面談(指定期日に担任との面談を行い、個人目標を明確にする)					5/24	
8	1・2年生交流会(学校生活・現場実習など、より成長できるきっかけについて先輩に学ぶ)					6/7 (オンライン)	
9	1・2年生交流会(学校生活・現場実習など、より成長できるきっかけについて先輩に学ぶ)					6/7 (オンライン)	5点
10	自己理解・他者理解を深める(思考ゲームを通して他人の考え・価値観の違いを学ぶ)					6/14	
11	自分の「好き」について知る・調べる・作る(デザインの分布を学び、理解する)					6/21	
12	自分の「好き」についてプレゼンする(デバイスを使用し、効果的に発表する)					6/28	5点
13	作品撮り講習①(自分で出来る作品撮りについて業界から学ぶ)					7/12	
14	1~13回目授業の振り返り授業(全授業の振り返りを行い、復習をする)					8/23 (オンライン)	
15	定期テスト(60点満点)・後期に向けて(前期の振り返りをし、自分の成長について考える)					8/30	60点
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	メイク技術理論	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	堤 里海
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期
						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
BAとしてお客様に合ったご提案をする為に、現場対応が可能な技術を身に付ける。 * 外資系化粧品ブランドメイクアップアーティスト兼、MV、TV、広告等のヘアメイクに携わる。(堤 里海)							
【授業を通じての到達目標】							
現場で必要なタッチアップマナーやカウンセリング力、メイクアップ技術を身に付け、お客様一人一人に合った提案力を習得する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
メイク道具一式、筆記用具、ファイル、鏡用雑巾							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	【授業単元】 授業内容、ルール、テーブルセッティング確認、教材使用方法						
2	【到達目標】 店頭において必要な事前準備から、タッチアップにおいての細かいマナーを理解する。 メイクブランドをカテゴリー別によりサーチを行い、模写する。フェイスチャート練習。						
3	【授業単元】 SSTトレンドメイクパターン① フェイスチャート練習						10
4	【到達目標】 今季トレンドを理解し、トレンドを落とし込んだフルメイクを40分で実施する。						
5	【授業単元】 SSTトレンドメイクパターン② フェイスチャート練習						
6	【到達目標】 今季トレンドを理解し、トレンドを落とし込んだフルメイクを40分で実施する。						
7	【授業単元】 メイクブランドリサーチを行い、課題に沿ってタイム内フルメイク完成						20
8	【到達目標】 様々なメイクブランドから各自ブランドリサーチを行い、コンセプトや製品知識を修得し、モデルさんに似合わせたブランドメイクを実施する。						
9	【授業単元】 ラグジュアリーブランドリサーチを行い、課題に沿ってフルメイク完						
10	【到達目標】 様々なラグジュアリーブランドから各自ブランドリサーチを行い、コンセプトや製品知識を修得し、モデルさんに似合わせたブランドメイクを実施する。						
11	【授業単元】 オーガニックブランドリサーチを行い、課題に沿ってフルメイク完成						10
12	【到達目標】 様々なオーガニックブランドから各自ブランドリサーチを行い、コンセプトや製品知識を修得し、モデルさんに似合わせたブランドメイクを実施する。						
13	【授業単元】 トレンドメイク実施						
14	【到達目標】 今までにリサーチしたブランドのコンセプトや製品説明を行い、夏のトレンドメイクを40分で実施する。						
15	【授業単元】カウンセリングフルメイク①ニーズを引き出す。						60
	【到達目標】カウンセリングを行いながらお客様のニーズを引き出したフルメイクを完成する。 フェイスチャートにてメイク提案をする。						
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			



科目名 (英)	業界研究 I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	今井香菜子 及川美波 吉田映梨子 阿部和彦
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	通年
						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
現場のヘアメイクの方からやりがいやトレンド、仕事の内容を伺い、将来の仕事のイメージをつける							
【授業を通じての到達目標】							
【使用教科書・教材・参考書】							
【授業外における学習】							
資料・教材は毎授業時に配布				授業によって自宅課題あり			
回	授業概要						テスト配点
1	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(事務所)						
2	【到達目標】 事務所で働くヘアメイクのイメージをつけることができる 仕事のやりがいなど、学んだことを言語化して振り返ることができる						
3	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(スチール・広告)						10
4	【到達目標】 スチールや広告等静止画で活躍するヘアメイクの仕事のイメージをつけることができる 仕事のやりがいなど、言語化して振り返ることができる						
5	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(映像系)						
6	【到達目標】 映画・ドラマ・CMなどの映像系で活躍するヘアメイクの仕事のイメージをつけることができる 仕事内容などを言語化して振り返ることができる						
7	【授業単元】中間テスト ヘアメイク業種・仕事内容・分野・働き方の振り返り						20
8	【到達目標】 今まで学んだ内容を振り返り、やりがいなどをプレゼンテーションすることができる						
9	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(ブライダル)						
10	【到達目標】 ブライダルヘアメイクで働くことのイメージをつけることができる 仕事の内容などを振り返り、言語化することができる						
11	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(フォトスタジオ)						10
12	【到達目標】 スチール現場実習時のカメラ前アシスタントの動きや流れを理解出来る フォトスタジオで働くヘアメイクの仕事を理解する 仕事を振り返り、言語化することができる						
13	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(サロン)						
14	【到達目標】 美容サロンで働くヘアメイクの仕事イメージすることができる 仕事を振り返り、言語化することができる						
15	【授業単元】定期試験 振り返り 【到達目標】ヘアメイクの仕事を一時的な視点で判断し、自分にあった職種をイメージすることができる						60
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	国際教育	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	今井・吉田・及川・阿部
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時間	前期 集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
海外のヘアメイク技術を知り、知見を広げる							
【授業を通じての到達目標】							
海外で活躍するヘアメイクアーティストの実演を通して、ヘアメイクの幅を広げる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授業概要						テスト配点
1	【授業単元】 海外のヘアメイク事情						
2	【到達目標】 ・日本と海外のヘアメイクの違いについて調べ、学習や発表を通して理解を深める ・海外研修プログラムの概要を理解する						
3							
4							
5	【授業単元】 海外研修を理解する						
6	【到達目標】 ・ヘアメイク科で毎年行っている海外研修の内容を理解し、イメージを広げる ・昨年参加した先輩から話を聞き、学びを深める ・研修先の施設を調べ、どのようなプログラムが行われたのかを理解する						
7							
8							
9	【授業単元】 海外研修先のヘアメイクアーティストの技術実演①						
10	【到達目標】 ・海外研修先のロサンゼルスで活躍するヘアメイクアーティストの技術を見学し、視野を広げる ・海外で働くヘアメイクアーティストの価値観を理解する ・日本との違いを学ぶ						
11							
12							
13	【授業単元】 海外研修先のヘアメイクアーティストの技術実演②						
14	【到達目標】 ・ロンドン、フランスで活躍するヘアメイクアーティストの技術を見学し、視野を広げる ・国ごとの考えの違いや、顧客の違いを理解する ・海外で働くヘアメイクアーティストの価値観を理解する ・海外での学びの重要性を理解する						
15							
【特記事項】				【評価について】 出席評価とする			

科目名 (英)	相互支援演習 I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	今井香菜子 及川美波 吉田映梨子 阿部和彦
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時間	前期 集中
学科・コース	ヘアメイク科						
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
クラスの相互支援関係を構築する							
【授業を通じての到達目標】							
クラスメイトと自然にコミュニケーションが図れるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授業概要					テスト配点	
1	【授業単元】 コミュニケーション技法①						
2	【到達目標】 ・グループワークの方法を学ぶ ・コミュニケーションゲームを通して相互理解を深める ・自己紹介を通して自己開示を進める						
3							
4							
5	【授業単元】 コミュニケーション技法②						
6	【到達目標】 ・ヘアメイクの調べ学習と発表を通じて、プレゼンテーション力を上げる ・異質なものを認めることができる ・自分自身を理解することができる						
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> <li>●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施</li> <li>●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)</li> <li>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul>			

科目名 (英)	総合演習	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	今井香菜子 及川美波 吉田映梨子 阿部和彦
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期
学科・コース	ヘアメイク科					曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
2年生の学内コンテストを見学し、自身の1年後を具体的に想起させる							
【授業を通じての到達目標】							
コース選択後の自分と照らし合わせることで学習に対するモチベーションを高める							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要						テスト配点
1	7月17日 【授業】単元】オリエンテーション 【到達目標】コンテスト見学の目的を理解する、本日の競技内容の説明						
2	7月17日 【授業】単元】コンテスト見学 【到達目標】各分野に分かれて2年生の競技を見学する						
3	7月17日 【授業】単元】コンテスト見学 【到達目標】各分野に分かれて2年生の競技を見学する、表彰式を見学し達成感について考える						
4	7月17日 【授業】単元】コンテスト見学の振り返り 【到達目標】2年生のコンテストを見学し感じた事を書き出すことにより客観的に自分の考えを理解する						
5	7月18日 【授業】単元】オリエンテーション 【到達目標】本日の競技内容の説明						
6	7月18日 【授業】単元】コンテスト見学 【到達目標】各分野に分かれて2年生の競技を見学する						
7	7月18日 【授業】単元】コンテスト見学 【到達目標】各分野に分かれて2年生の競技を見学する、表彰式を見学し達成感について考える						
8	7月18日 【授業】単元】コンテスト見学の振り返り 【到達目標】2年生のコンテストを見学し感じた事を書き出すことにより客観的に自分の考えを理解する						
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 ・2年生コンテスト見学は出席評価とする			

科目名 (英)	浴衣着付け演習	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	中澤・岡野・和田
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時間	前期 集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
長きに渡り、着物着付け師・着物講師指導にあたり、自らも和装ブライダルの花婿・花嫁の着付けを手掛ける教員が冠婚葬祭の基礎知識をわかりやすく解説し、現代のニーズに応えられる上質の和装着付けを実施する。 基礎の浴衣から小紋の着付けまでを一人で着る自装を器具等を使用せず、どのような現場でも通用する技術を提供する。							
【授業を通じての到達目標】							
初伝の資格が取得できるようになる・・・器具を用いず手結びで結べるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
一般財団法人国際美容協会発行の[きもの着付け教本]使用							
回	授業概要					テスト配点	
1	【授業単元】 浴衣についての歴史や概要を理解する						
2	【到達目標】 ・浴衣の歴史を知る ・着物の名称を覚える ・着付け前の準備を覚える						
3	・下着の着付け、しまい方を覚える						
4							
5	【授業単元】 浴衣の着付けと帯結び						
6	【到達目標】 ・浴衣の着付けと帯結びができるようになる ・細帯の三段返しを理解する						
7							
8						100	
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			